

2024年（令和6年）

3月定例会

3月定例会審議結果 …… 2

紙上中継 …… 4

3月定例会一般質問
（町政をたず） …… 5

あれからどうなった？
（一般質問のその後は） …… 16

石川町 議会 です

こんにちは

発行／石川町議会

編集／広報常任委員会

満開のさくら
気持ちいいね!!

石川町議会
ホームページ



写真／いしかわツリートップ保育園

No. 222

令和6年
5月1日

令和6年度

一般会計・特別会計 予算

総額 120億3,285万円

人口減少対策への取り組みに11億6,828万円を重点配分



拡充

児童手当給付事業
2億3,181万円
(対象を高校生まで、第3子以降の給付額引き上げ、所得制限の撤廃)



新規

こども計画の策定
500万円
(『こどもまんなか社会』実現に向けた計画の策定)



新規

空き家対策・状態調査支援事業 **194万円**

全国空き家アドバイザー協議会
福島県石川支部

(空き家相談窓口の設置、空き家の簡易状態調査への支援)

「共に創る 幸せ実現のまち」

保健・福祉・医療

健康で元気に暮らせるまち
事業費／60億9,134万円

- 地域福祉の推進
- 児童福祉の充実
- 保健・医療の充実
- 障がい者福祉の充実
- 高齢者福祉の充実
- 人権尊重・権利擁護の推進
- 保険制度(国保・後期・介護) [56事業]

産業・観光

活力ある産業を形成するまち
事業費／10億8,691万円

- 農林業の振興
- 商工業の振興
- 雇用の創出
- 観光の振興

[37事業]

教育・文化・スポーツ

豊かな心・町民文化を育むまち
事業費／9億7,225万円

- 生涯学習の充実
- 社会教育の充実
- 学校教育の充実
- 文化の振興と歴史資源の継承
- 鉱物の保存・活用
- スポーツの振興

[55事業]

防災・生活環境

安全で住みよいまち
事業費／8億4,745万円

- 消防・防災対策の充実
- 交通安全・防犯対策の充実
- 資源循環の推進
- 放射能対策の推進

[17事業]

生活基盤

都市機能が充実したまち
事業費／9億4,242万円

- 土地利用の推進
- 生活道路の充実
- 河川環境整備の推進
- 住環境の整備
- 上水道の整備
- 公共交通網の整備

[25事業]

地域自治・行政運営

共に創るまち
事業費／3億9,174万円

- 協働による地域づくりの推進
- 効率的な行財政運営
- 広域行政・地方分権
- 情報化の推進
- 町民参加
- まちなか再生の推進

[24事業]

● その他の44事業 事業費／17億74万円

みんなが知りたい

予算の目玉

令和6年3月定例会は、3月7日から3月19日までの13日間の会期で開かれ、条例案件13件、補正予算4件、当初予算9件、計画策定1件、人事案件2件、陳情1件、選挙1件の合計31件を審議しました。



令和6年12月開園

認定こども園整備事業 **3,187万円**
(園庭遊具、備品整備等)



拡充

男性育休取得者奨励金 **50万円**
(育休を5日以上取得した男性等に奨励金を交付)

新規 園芸産地競争力強化事業 **581万円**
(園芸事業者が実施する生産設備導入事業への支援)

新規 地域商社 サクライズ Sakuraize 設立
関連経費 **3,690万円**
(Sakuraizeへの事業委託、設備導入補助等)

新規 総合体育館照明LED化事業 **1億8,400万円**
(水銀灯照明をLED化、蓄電池設備の更新)

道の駅整備事業 **4億566万円**
(令和7年度オープンに向けた造成、調整池改修、道路改良工事等)

議案・陳情 審議結果

全会一致で可決した議案

議案番号	議案名
議案 第3号	石川町第6次総合計画基本構想の改定及び後期基本計画の策定について
議案 第4号	石川町監査委員に関する条例の一部を改正する条例
議案 第5号	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例
議案 第6号	石川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
議案 第7号	石川町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
議案 第8号	石川町手数料条例の一部を改正する条例
議案 第9号	石川町立歴史民俗資料館設置条例の一部を改正する条例
議案 第10号	石川町介護保険条例の一部を改正する条例
議案 第11号	石川町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例
議案 第12号	石川町営住宅等条例の一部を改正する条例
議案 第13号	石川町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
議案 第14号	石川町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例
議案 第15号	石川町給水条例の一部を改正する条例
議案 第16号	石川町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例
議案 第17号	令和5年度石川町一般会計補正予算(第10号)

議案番号	議案名
議案 第18号	令和5年度石川町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
議案 第19号	令和5年度石川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)
議案 第20号	令和5年度石川町宅地造成事業特別会計補正予算(第2号)
議案 第22号	令和6年度石川町国民健康保険特別会計予算
議案 第23号	令和6年度石川町後期高齢者医療特別会計予算
議案 第24号	令和6年度石川町介護保険特別会計予算
議案 第25号	令和6年度石川町母畑財産区特別会計予算
議案 第26号	令和6年度石川町中谷財産区特別会計予算
議案 第27号	令和6年度石川町土地開発事業特別会計予算
議案 第28号	令和6年度石川町宅地造成事業特別会計予算
議案 第29号	令和6年度石川町水道事業会計予算
議案 第30号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(1名1議案 P3「人権擁護委員候補者の推薦」を参照)
議案 第31号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(1名1議案 P3「人権擁護委員候補者の推薦」を参照)
陳情	
陳情 第2号	健康保険証廃止の中止を求める陳情書(継続審査分)

議案の詳細については、こちらからご覧いただけます。



賛否の討論

○議案第21号
令和6年度石川町一般会計予算について

年間に渡る財政計画は自信をもって認めらず、本予算には道の駅整備事業予算を含んでいるため反対します。

(瀬谷京子)

【反対】道の駅整備事業は、補助金や地方債を使用するため町負担が少なくなり、その町負担も運営事業者からの納付金で賄えるとのこと。しかし、借地代等のランニングコストは、今後、継続して一般会計から支出することになると思われ、さらには、資材の高騰、人手不足により事業費もかなり膨らむと考えられます。こうしたことから30

【賛成】道の駅の事業は、予算が執行され、すでに始まっています。今後、人口減少が進み、何もしなければ農業、工業、商業は衰退するばかりですが、TTCという企業が来ることで雇用も生まれ、町の活性化が期待されます。町が変わるきっかけになる事業であると考え、ため賛成をします。

(小木芳郎)

審議の経過については、こちらをご覧ください。

令和6年2月臨時会



令和6年3月定例会



→最終日へ

令和6年3月定例会 議案 審議結果

賛否の分かれた議案

○賛成 ×反対 —議長は採決に加わらない。

議案番号	議案名	迎茂城	水野谷常子	星恵子	金沢和則	鈴木義延	角田保寿	菊池美知男	根本重泰	瀬谷寿一	小木芳郎	増子美知夫	瀬谷京子	乾初美	近内雅洋	審議結果
議案 第21号	令和6年度石川町一般会計予算	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	—	原案可決 (賛10、反3)

人権擁護委員候補者の推薦

任期満了に伴う、人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて、小松広江氏(境ノ内)、佐川正治氏(赤羽)を適任としました。

選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙

任期満了に伴う選挙が行われ、選挙管理委員会委員に永沼浩氏(立ヶ岡)、増子憲夫氏(沢井)、永沼修一氏(湯郷渡)、板橋重徳氏(板橋)、同補充員として、荻野正美氏(曲木)、添田秀子氏(形見)、鈴木茂彰氏(中田)、高原茂氏(板橋)が当選しました。

令和6年2月臨時会 議案 審議結果

令和6年2月28日に令和6年2月臨時会が開催され、全会一致で可決されました。

議案番号	議案名
議案 第1号	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度石川町一般会計補正予算-第9号)
議案 第2号	石川町認定こども園調理場厨房機器購入契約の締結について



紙 上 中 継

予算決算審査特別委員会

Q 一般社団法人地域商社「Sakur aize」とは？

A これまで町や観光物産協会が行ってきた観光物産振興事業や情報発信等に加え、民間のマネジメント力を取り入れ、魅力的な観光商品開発や効果的な情報発信、さらには今ある資源を最大限に利用した商品開発や販路拡大等を行い「地域の稼ぐ力」の担い手として次の役割を担います。

- ・ふるさと振興事業
- ・ECサイト運営事業
- ・店舗運営事業
- ・イベント運営事業
- ・物産振興事業

・観光振興事業
・情報発信
〔所在地〕
字長久保96
新石川町歴史民俗資料館内

Q 道の駅の進捗は？

A 令和5年度は事業者と連携し基本設計、実施設計に取り組んでいます。令和6年度は、国道と接する道路の改良、用地の造成工事等、次の事業に着手します。

- ・西部工業団地調整池改修
- ・水道管布設
- ・国道と交差する道路の改良
- ・用地造成、等

Q 水郡線全線開通90周年の取り組みは？

A 昭和9年の全線開通から90周年を迎える水郡線の利用促進のため、企画列車の運行を行います。さらに団体利用者に補助金を交付します。

Q 石川松森線廃止の代替策は？

A 近年の利用状況や地域の意見を受け、令和6年3月末で石川松森線を廃止します。

利用者の交通手段については、「ミニバス」を利用できます。

令和6年4月1日からこども家庭係ができました

児童福祉法が改正され、令和6年4月から、すべての妊産婦・子育て世帯・子どもへ一体的に総合相談支援を行う機関として「こども家庭センター」が位置づけられました。

石川町では、保健福祉課内に「こども家庭係」を新設し、こども家庭センターの役割を担います。

『こども家庭係』のしごと

妊娠や出産、子育て等についての相談や困りごとに対し、保健師や看護師、社会福祉士等の専門職が対応します。

- 児童手当 ● 児童扶養手当 ● 特別児童扶養手当
- 出産・子育て応援給付金 ● 新生児誕生祝金 ● 母子健康手帳の交付
- 妊婦・乳幼児全戸訪問 ● 妊産婦健康検査助成 ● 産後ケア事業
- 妊産婦タクシー料金助成事業 ● 乳幼児健診・各種教室の開催
- 障がい児福祉サービス ● 不妊治療費助成事業 ● 不育症治療費助成事業 など

一般質問

町政をただす

一般質問は、町政全般にわたって町の行政事務の状況や将来に対する方針などをただすもので、定例会に限って行われます。今回は10名が登壇し、町の考えを尋ねました。

※紙面の都合上、質問と答弁を要約してお知らせします。(質問の一部を割愛しています。)
詳細については、各議員のタイトルの横の二次元コードを読み込むと、録画映像によりご覧いただけます。

菊池美知男 議員

P6

- ◆人口減少対策について ◆新歴史民俗資料館について
- ◆マイナンバーカードと住基ネットについて
- ◆交通安全対策について



乾 初美 議員

P7

- ◆庁内と教育現場におけるハラスメントの実態及び対策について
- ◆県立石川高校魅力化推進事業について



角田 保寿 議員

P8

- ◆令和6年度の町政運営等について
- ◆高齢社会への対応について
- ◆地域住民からの要望に対する対応について



根本 重泰 議員

P9

- ◆令和6年度重点施策について
- ◆公民連携事業の導入について



鈴木 義延 議員

P10

- ◆石川町の防災対策について
- ◆千五沢ダム決壊時等を想定した対応について



増子美知夫 議員

P11

- ◆ライドシェアの導入について
- ◆本町が取り組む震災対策について
- ◆第6次総合計画「第6回実施計画」について



星 恵子 議員

P12

- ◆小学校の統合について
- ◆災害時における避難所のあり方について
- ◆男女共同参画プランについて



瀬谷 寿一 議員

P13

- ◆国営母畑開発建設事業について
- ◆若者が共感する少子化への対応について



水野谷 常子 議員

P14

- ◆地域にある公園の管理について
- ◆防災対策について
- ◆高齢者支援策について



迎 茂城 議員

P15

- ◆森林環境譲与税の活用について
- ◆介護保険制度の現状と課題及び今後について





質問者の動画が見られます

Q 人口減少に歯止めをかけるには

A 第一に子育て支援、今回11億円の予算



きくちみちお 菊池美知男 議員

◆人口減少対策について

質問 本町のまちづくりを進める最上位計画である総合計画と石川町人口ビジョンにおけるこれまでの検証や評価は。

答弁 各種施策の数値目標の達成状況や事務事業について内部評価を行うと共に、町民アンケートの結果など外部評価の視点を加え実施していきます。

質問 定住促進や、これからの世代への支援



「子にまさる宝なし」

で他の自治体にはない特色ある事業は。

答弁 転入者に一定の条件で家賃の一部を支援する移住定住家賃補助金、また高校生を対象とした企業合同説明会や奨学金返還支援を実施しています。

◆新歴史民俗資料館について

質問 一般社団法人地域商社「Sakurazize」との兼ね合いは。

答弁 館内の一部を事務所として、独自の活動を行っていくとともに、観覧料の徴収などの受付業務や、企画展図録、町史等の発刊物に加え物産品や土産品の販売を町から委託します。

質問 誘客の具体的手法は。

答弁 教育施設としての目的を果たしつつ、観光資源の一つとして誘客を図ります。

質問 学校等の教育機関との連携と果たすべき役割は。

答弁 将来の石川町を担う子ども達の地域ブランド醸成のため、今後は更なる連携を深めていきます。

◆マイナンバーカードについて

質問 健康保険証との

紐づけは。

答弁 紐づけの意義や利便性が被保険者に十分伝わるよう、丁寧な周知、広報に努めます。

◆交通安全対策について

質問 踏み間違い装置設置に対する支援は。

答弁 現在、実態調査を行っており、有効性が認められる場合は、町交通安全対策協議会において意見の聴取を行い、支援の実施について検討していきます。

質問 県道白河石川線の歩道改修は。

答弁 経年劣化が著しく狭く段差がある箇所など、既に歩行者の通行に支障をきたしていることから、早期に改修が実施されるよう県に対して継続し要望していきます。

Q パワハラ対策が義務付けられたが、職員への周知・啓発は



質問者の動画が見られます

A 令和3年2月に石川町職員ハラスメント防止の指針を策定し、風通しのよい職場環境づくりに努めております



いぬい はつみ 乾 初美 議員

ハラスメントは、当事者間だけでなく庁内全体の問題という認識を！

◆庁内と教育現場におけるハラスメントの実態及び対策について

質問 今年度、町はハラスメントに関する相談や訴えを職員から受けたことがあるか。
答弁 相談は数件ありました。

質問 それに対してどのような解決策を取ったか。
答弁 当事者と面談を

行い、事実関係について調査、確認を行いました。必要に応じて指導・注意・助言を行いました。

質問 当事者だけでなく、第三者からも事実関係を聴取するなどの措置を取るべきでは。
答弁 その必要性は認識しています。

質問 潜在化、長期化している被害をあぶり出すことができるか。
答弁 全職員に対するアンケート調査などの必要性を感じています。

質問 相談窓口は、外部にも必要ではないか。
答弁 県の人事委員会に、相談できるような体制があります。

質問 加害者の懲戒処分
答弁 町職員の懲戒処分等の基準に関する要

綱がありま
すので、こ
れに基づき
処分を行う
ことになり
ます。

◆県立石川
高校魅力化
推進事業に
ついて

質問 今後
配置するコ
ーディネー
ターの役割
は。

答弁 学校
と地域、そ
して生徒を
結びつけていくことで
す。

質問 今後設置される
学校運営協議会とは。

答弁 学校関係者、保
護者の代表、行政機関
地域の企業や地域で活
動されている方などで
組織され、地域全体で



県立石川高校生と議員との意見交換会

学校を運営していくこ
とを目的としています。

意見 高校を核とした
地方創生の実現のため
に、コーディネーター
や学校運営協議会と方
向性を明確にし、密に
連携しながら魅力化事
業を進めていくべき。

Q 令和6年度の町政運営について



質問者の動画が見られます

A 聞く力、交渉する力、発信する力を最大限に発揮する



かくた やすじ
角田 保寿 議員

◆令和6年度の町政運営等について

質問 町民の幸せ実現を図るには。

答弁 町民の皆様の声に真摯に耳を傾け、施策に反映させるための聞く力、財源確保により施策の実行性を高めるための交渉する力、施策の展開により町の魅力や強みを広く伝えるための発信する力を最大限に発揮し、町民の誰もが安心して暮らせる「我が故郷いしかわ」の未来を見据えたまちづくりを進めていきます。



母畑自治協議会理事の浪江町視察の様子

質問 本年4月オープンの新歴史民俗資料館の将来的な評価は。

答弁 文化財を保存し、その活用を図り、町民の教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的に、社会教育施設として設置するものです。単に展示収蔵を行うだけでなく、歴史、文化、自然のすばらしさを来館者に伝え体感



同理事の大熊町コミュニティ施設見学の様子

◆高齡社会への対応について

質問 高齡社会の対応は。

答弁 本町は、独居高齡の方が急病や事件、事故などに遭われたと

できる施設とするとともに、石川町を担う子どもたちの地域プライドの醸成、石川プライドを育てる場とすることを掲げています。

◆地域住民からの要望に対する対応について

質問 町道の改良や危険所の対応は。

答弁 現在施工中の路線の完了を見極めながら、効率的かつ効果的な道路整備を図ります。また危険箇所は現地確認を行い、関係機関や地域と連携を図りながら解消に努めます。

きの緊急連絡手段として、高齡者の自宅に機器を設置し、オペレーターと24時間連絡が取れる緊急通報システム運営事業を実施していきます。独居高齡者や離れて暮らす家族の安心にもつながる支援事業です。



質問者の動画
が見られます

Q 令和6年度事業の重点施策は

A 町民の命と生活を守ることを第一に



ねもと しげやす
根本 重泰 議員

その事業、「効果ある仕組み作り」は、大丈夫？

質問 保健・福祉・医療の分野は。

答弁 令和6年12月の認定こども園開園に向け、子育て環境の充実を図ります。また、4月設置予定のこども家庭センターを核として、妊産婦と子ども、保護者の相談支援と子育て情報発信体制を確立し、子育て支援を充実させます。

介護事業では、デジタル技術を活用し、介護認定審査の迅速化を

図るほか、介護を担う人材の確保と離職防止のための補助制度を創設します。

質問 産業と観光の分野は。

答弁 活力あるまちの実現に向けて道の駅整備を着実に進展させます。また、一般社団法人地域商社 Sakurazize と連携し、観光情報の発信と観光物産事業を強力に押し進め、関係人口の増加を図ります。

質問 農業・畜産の分野は。

答弁 稲作農家の生産意欲向上と営農継続に向けた支援策や、畜産飼料高騰に対する支援策を講じます。

質問 教育・文化・スポーツ分野は。

答弁 新歴史民俗資料館で、本町の歴史、文

化、自然のすばらしさを発信し、次代を担う子供たちの郷土愛や地域プライドを育む場として活用します。

質問 生活環境の分野は。

答弁 ごみ排出抑制とリサイクル率向上による、脱炭素化社会の実現に向けた取り組みを強化します。

質問 生活基盤の分野は。

答弁 旧雇用促進住宅跡地を整備、分譲し、若者・子育て世帯の移住定住を進めます。

質問 地域自治と行政運営の分野は。

答弁 母畑自治センターの新築移転事業の検討を開始します。

また、新たなまちなか再生行動計画の策定、行政手続のオンライン対象手続の拡充など町

民の皆様のご利便性向上に資する自治体DXを推進します。

◆公民連携事業の導入について(公共施設の包括管理)

事務の効率化、施設管理の質の向上、町内事業者保護の観点から本町が保有する全ての公共施設における包括管理体制を確立する取り組みを進めており、令和6年度には、事業の目的や公民連携の手法、効果等をお示しできると考えています。



こども園基礎工事が進んでいます(4月2日撮影)
石川町の文教地区として相乗効果が期待できます



質問者の動画が見られます

Q 石川町の防災対策について

A 人命第一に災害に強い町づくりを推進



鈴木 義延 議員

質問 家屋の地震対策（住宅耐震化率の向上）について。

答弁 本町において、建築基準法により震度6強の地震でも「家屋倒壊は免れる」という新耐震基準で建築されている建物（耐震化率）は77・2%です。災害に強い町づくりのため、耐震診断に基づく耐震改修の費用について、100万円を上限に助成を行っています。

質問 個別避難計画における支援者確保の状況は。

答弁 令和3年に災害対策基本法が改正され、

災害時自ら避難することが困難な避難行動要支援者について、避難支援者、避難先及び避難時の配慮事項等の個別避難計画を作成することが努力義務となりましたが、本町では1件の作成にとどまっております。今後は、庁内関係課等との連携を密にし作成業務にあたります。

質問 防災時活用品製造業者など、地元及び近隣企業との包括協議について。

答弁 災害復旧活動の効果的かつ迅速に行うため郵便局、プロパンガス事業者、電力会社等と連携協定を結び、さらに須賀川市の段ボール製造企業、東京都のカプセルベッド製造企業など20事業所と協定を締結しています。

質問 災害発生時を想

定した防災避難訓練の実施について。

答弁 令和6年度は、自主防災組織や各自治センターにおける防災訓練のほか、北町地区など河川沿線行政区の住民を対象とした地域ハザードワークショップや、地震災害を想定した避難訓練を実施する予定です。

◆千五沢ダム決壊時避難について

質問 千五沢ダム浸水想定マップの更新と避

難所の見直しについて。

答弁 マップの更新については、ダム洪水吐きの構造の変更や、洪水調整機能が備わったことに加え、今出川の河川改修によって浸水想定や到達時間の変化が想定されるため、ダム管理を行う県と協議を行い、更新の必要性を含めて検討します。

質問 管内4町村との連携協議について。

答弁 食料、飲料水及び生活必需品などの物資の提供、応急復旧活動への職員派遣など災害時における相互応援協定を管内4町村のほか、いわき市を含む6市町村間で締結しています。また、B&G財団施設設置町の柳津町、埴町、小野町や、姉妹都市の角田市とも相互応援協定を締結しています。



治水機能整備が完了した千五沢ダム

交通弱者を支援する「ライドシェア」導入の検討について



質問者の動画が見られます

A 導入の必要性について、検討を深化させていきます



ましこみちお 増子美知夫 議員

◆交通弱者の移動支援を目的とする「ライドシェア」が4月1日から限定解除される

質問 本町も高齢化社会を迎え、交通弱者を自分の乗用車を使用し低料金で送迎できる「ライドシェア」導入を検討する考えは。

答弁 ライドシェアの効果や既存の公共交通サービスに与える影響などに細心の



時間を予約し、出かけたい所に行ける

注意を払いながら、導入の必要性、実現可能性について、検討を深化させていきます。

◆能登半島地震災害は9割近くが家屋の倒壊による建物の下敷きになって、尊い人命が失われた

質問 本町の耐震対策がされていない家屋数は。

答弁 令和3年度に策定した石川町耐震改修促進計画では、新耐震基準を満たしていない家屋は、約1200棟と推計しています。

質問 「耐震対策」が必要と判断された家屋の耐震化を進めるために、どのような施策を実施して取り組んでいくのか。

答弁 本町では「耐震診断」と「耐震改修」の2つの支援制度があります。耐震診断には20万円の費用がかかりますが、今年度から個人負担を一律10,000円とし、耐震改修は100万円を上限に支援し、居間や寝室等、部分的な改修は60万円を上限に支援します。

質問 耐震対策の前にまず家屋の診断が必要だ。

答弁 今後、町民の皆

さんにご理解を頂けるよう広報していきます。

◆「第6回実施計画」が策定された。事業内容は全117件のうち、新規事業は僅か10件で9%に過ぎず、継続事業がほとんどを占めている

質問 本町が抱えている喫緊の課題解決のため、事業を「スクラップ&ビルド」する仕組みを構築し、前向きな新規事業を1件でも多く予算計上してほしい。

答弁 実施計画に計上している全事業で、貢献度、効率性を評価項目とした事業評価を行っており、それを経たうえて「継続事業」と判断していますので、ご理解をいただきます。

Q 小学校統合に伴い、手厚い人的配置を

A 令和7年度から、小・中学校を兼務する学校司書を配置したい



質問者の動画が見られます



ほし けい こ 議員
星 恵子

◆ 小学校の統合について

質問 加配教員の配置について。

答弁 令和6年度は、野木沢小学校に統合前加配教員が配置され、令和7年度から9年度までの3年間は、石川小学校に統合後加配教員が配置される予定です。

質問 スクールバスの運用について。

答弁 4月から、小・中学生ともに3キロ以上の利用に統一します。統合後はバス一台を増便する予定です。

質問 統合に伴い、施設設備や維持管理にあててきた財源を、学校司書などの人的配置にあてられないか。

答弁 令和7年度から、小・中学校を兼務する形で学校司書を配置したいと考えています。

質問 保健室登校や学習に困難さを感じている児童生徒に対する学習支援員を配置できないか。

答弁 支援員の配置については、しっかりと考えたいと考えています。

◆ 災害時における避難所のあり方について

質問 本町防災担当部署の女性職員の配置状況について。

答弁 現在、配置していません。

質問 避難所では、男

性がリーダー的役割、女性がサポートやケアの役割を担うことが多い。男性も女性も避難所運営に関わる必要ではないか。

で、町民アンケートを実施します。

質問 女性支援新法に対する取り組みは。

答弁 情報収集を行い、具体的な施策の検討を始める予定です。

質問 避難所チェックシートの活用について。

答弁 避難所チェックシートの活用など、改善点や追加で盛り込むべき新たな内容については、防災計画の改訂時に修正を加えます。

意見 固定的な役割分担意識や慣習を見直すことは簡単ではないが、4人の女性議員が誕生したことは大きな変化。女性参画率や幸福度のアップにつながっていくと信じている。

◆ 男女共同参画プランについて

質問 審議会の女性参画率は。

答弁 25%で横ばいです。新たな参画プラン策定に向け



Q 580億円をかけた開パ事業の評価は



質問者の動画が見られます

A 営農計画を達成できず、耕作放棄地が増加傾向にあります



せや としかず 瀬谷 寿一 議員

◆国営母畑開発建設事業(開パ事業)について

質問 後継者がいなくなるという千五沢地区移住者に直に会って話を聞いてもらいたい。
答弁 そのように努力します。

質問 開パ事業のアンケートでは、「この事



平成2年2月9日に農林水産大臣に提出した千五沢出身者8名の要望書

業は失敗だ」「償還金を何とかしてほしい」との声が多い。どのようになっているのか。
答弁 償還金などの滞納金があると聞いています。もう一度、要望書を持って農林水産省に訴え、今の農家の実状、実態を見てもらいたいと考えています。

質問 国営母畑地区営農推進連絡会はあるのか。
答弁 母畑プロジェクトチームとして残っています。

質問 国では2050年までに25%を有機農業とするといっている。畜産業が盛んな石川町だからこそ、国とともに有機農業を柱とする農業を目指せないか。
答弁 石川町が中心となって、有機肥料を作り、有機農業を目指す計画の策定について、



沢井字十三塚地内の開パ農地

県や農協とタイアップしながら考えていきます。

質問 新しい千五沢ダムの治水能力では、令和元年の洪水を防げるのか。シミュレーションはできあがったのか。
答弁 ダムの管理は、4月から県が行います。シミュレーションは行っているとのことですが、県からは、今のところ回答はありません。

◆若者が共感する少子化への対応について

質問 6年度も11億円を投資することだが、少子化対策の成果が見えていない。若者

子育て世代の低賃金、長時間労働、非正規が原因ではないのか。

答弁 中小企業、零細企業を守らなければいけません。国の政策として、小さい企業も潤うよう大手企業を指導していかないと動きません。長時間労働、賃金の改定についても、国が主導的に改革していかないと難しいと考えます。

質問 自治体は、積極的に子育てと仕事を両立しやすい環境をつくっていく必要があるのではないか。こども園に保健師や用務員を配置し、安心して子どもを預けられる環境が必要ではないのか。
答弁 今のところ事務員や用務員の配置は考えていませんが、保健師の資格を持った方を採用することで考えています。

※国営母畑開発建設事業(正式:国営総合農地開発事業):昭和43年に2431haの農地開発を目的に着工し28年の年月を費やし平成8年に完工した。昭和45年には、国の米の生産調整、開田抑制政策により、ダム機能を活かすため開田から開畑事業へと事業面積を3957haに変更した。しかし、事業費の高騰等から償還金4万4千円/10aが提示されると事業離脱者が増え、事業面積を2081haに変更した。その後、返済期間の延長や治水容量の転換で事業を完工したが、償還金の返済は令和14年まで、その後も賦課金(維持管理費等)を払い続けなければならないなど課題が大きい。

Q 地域にある公園の管理に対する助成について



質問者の動画が見られます

A 町は、各自治協議会に対し、まちづくり交付金を交付しています



みずの やつね こ
水野谷常子 議員

◆地域にある公園の管理について

【質問】 公園管理に係る町の助成について。

【答弁】 上記のほか、県の地域創生総合支援事業、一般社団法人地域活性化センターのコミュニティ助成事業など、活用できる制度を紹介しながら各自治協議会に対し活動の支援を行っています。

◆防災対策について

【質問】 住宅用火災警報器普及率の推移について。

【答弁】 石川消防署の調

査では、設置率は年々上昇しています。

	住宅の一部に設置	条例※に適合した設置
令和3年度	66.67%	33.33%
令和4年度	73.33%	43.33%
令和5年度	76.67%	66.67%

【質問】 住宅用火災警報器購入に対する町の支援について。

【答弁】 石川町老人日常生活用具給付事業において、65歳以上の低所得の寝たきり高齢者や一人暮らしの高齢者等を対象に、住宅用火災警報器の給付を行っています。

【質問】 消火器の取り扱い指導について。

【答弁】 石川消防署が、町内の事業所、公共施設、行政区からの要請を受けて、消火器の正しい使い方や水消火器を使った消火訓練等を行っています。

【質問】 災害時における避難指定所について。

【答弁】 公共施設駐車場や公園広場、学校グラウンド等を指定緊急避難所に指定しています。また、総合体育館やモトガッコ等の公共施設及び自治センターを指定一般避難所に指定しています。

◆高齢者支援策について

【質問】 独居高齢者世帯、高齢者のみ世帯の状況

について。

【答弁】 令和5年度は、見守り等の支援が必要と考えられる世帯のうち、75歳以上の独居高齢者世帯数は376世帯、高齢者のみ世帯数は323世帯となっており、年々増加しています。このようなことから、緊急時の対応として通報システムを設置し支援を行っています。



沢井地区の山森沢桃源の里

Q 森林や林業に対する町の考え方は



質問者の動画が見られます

A 森林所有者に対し、経営や管理等の意向調査をしたうえで進めていきます



ひかえ しげき 迎 茂城 議員

◆森林環境譲与税の活用について

質問 森林や林業に対する町の考え方は。

答弁 森林整備と放射性物質対策を一体的に図る「ふくしま森林再生事業」、シイタケ原木などの安定供給や原木林となる広葉樹林の再生を図る「広葉樹林再生事業」を活用し、林業生産活動の回復と林業の活性化を図っていきます。

また、「森林経営管理制度」を進めるため、森林所有者に対して今後の森林経営や管理などの意向を調査し、地



谷沢地内の広域農道から望む広大な森林

籍調査や森林材積調査などを実施していく予定です。

質問 森林環境譲与税の使い道について。

答弁 路網整備、植栽箇所における鳥獣被害対策、森林病害虫対策、森林整備を担うべき人材の育成及び確保、さらには公共施設の木材利用等、関係機関と協力しながら、林業活性化の財源として活用していきます。

◆介護保険制度の現状と課題及び今後について

質問 第8期計画の評

価、課題は。

答弁 要介護認定者数は、令和4年度が857人で、令和3年度や令和5年度との比較で80人から90人ほど減少しており、コロナ禍の影響が見られました。給付費は、感染を恐れた外出自粛やサービスの利用控えが多く発生し、減少が見られました。

質問 次期計画となる第9期計画の重要施策は。

答弁 地域包括ケアシステムの中核を担う地域包括支援センターの機能強化の推進に努めます。また、介護従事者への支援として、各種研修受講料の助成を行うほか、介護支援専門員の就業の継続と新規就労者の定着を図るため、継続支援金を支給し、処遇改善を図ります。

質問 第9期計画における保険料の決定プロセスと額は。

答弁 まず要介護度別認定者数及び居宅施設サービスの利用者数の推計を行います。

その後、過去3年間の給付実績の分析等に基づき、今後の介護サービス料及び給付費の見込みなどから保険料を算定していきます。

また、介護給付費準備基金から1億6,000万円を取り崩し、保険料の上昇を抑制しました。以上により介護保険料額は、第8期と同額で、基準月額が5,600円となります。



開所30年を迎えた特別養護老人ホームさくら荘



令和5年3月
定例会より

あれからどうなった？

一般質問のその後は

水郡線存続のための 取り組み

①現在の状況は（存続について）

水郡線存続のための取り組みについては、沿線

の12自治体で構成する水郡線活性化対策協議会に

おいて、児童絵画展、SNSやカレンダーなどによる情報発信、若手職員ワーキンググループ

の開催、JRに対する要望活動など、水郡線の利便性向上と活性化に資する事業を実施しています。

人口の減少やモーターリゼーションの進展によりローカル鉄道を取

り巻く環境は年々厳しさを増し、磐城石川駅の利用者数は、令和3年度が17万5千人で、5年前との比較では約15%が減少し、近年は、減少傾向で推移しています。

②石川町としての事業予定は

昭和9年の全線開通から90周年を迎える水郡線の利用促進のため、町民向け企画列車の運行や親子体験企業ツアーの開催、小中高校生や自治センターなど公共的団体の利用に対する補助金交付

などに取り組みとともに、利用促進に向けた、一層の事業推進を図っていきます。

新歴史民俗資料館 4月27日オープン！

昭和49年開館の資料館

金、過疎対策事業債

の老朽化により、リニューアルオープンに向けた

愛称は「イシニクル」。

整備事業が、総事業費約

地域商社「Sakuraz i ze」との「ラボ」よ

6億5000万円の大型

り、石川町の活性化に向

プロジェクトとして令和

けた企画が期待されます。

4年1月から開始されま

4月27日にはオープニ

した。（財源：国の空き

ングセレモニーが行われ

屋対策総合支援事業補助

当面の間は無料開放され

ます。多くの町民の方に

足を運んでいただき、石

川町の歴史や文化を再発

見していただければと思

います。



新資料館のロゴマーク

『将来も県立石川高校が存続するために必要なこと』 ～県立石川高校生との意見交換会を実施しました～



令和6年2月8日に、県立石川高校生との意見交換会を実施しました。

高校生が12名、ファシリテーターとして先生が4名、議員が7名参加し、4グループに分かれて、“県立石川高校の魅力アップ”『将来も県立石川高校が存続するために必要なこと』をテーマに意見交換を行いました。

意見交換はワールド・カフェ方式*で行い、自由な雰囲気の中で進められ、「通学手段」「学校のPR方法」「特色ある学校づくり」「放課後の居場所づくり」「資格の取得」など、生徒と議員から多くの考えが出されました。

今回出された多くの考えの絞り込みや、それらを実現していくための方法などについて、5月中にもう一度意見交換会を実施する予定です。

議会では、令和3年度から町内の各種団体との意見交換会を実施してきましたが、高校生を相手に行ったのは今回が初めての試みであり、今後もさまざまなテーマで町内の高校生を対象とした意見交換会を開催していきたいと思っております。

道の駅常総を視察してきました

令和6年1月26日に、茨城県常総市にある「道の駅常総」を視察してきました。石川町道の駅整備事業で基本協定を締結したTTCグループが道の駅常総を運営していることから、今回視察を実施したものです。

道の駅常総は、令和5年4月にオープンし、敷地面積約20,000㎡の中に飲食施設、物販施設、加工室、農産物直売所などがあり、この日は平日であったにもかかわらず、多くの人たちが食事や買い物を楽しんでいました。『食のテーマパーク』を運営テーマに掲げており、地元農産物等を使用した食材の提供や、地元生産者との商品の開発等を行っていました。



視察した議員からは「商品開発が非常にうまい」「お客さんの数には驚いたが、首都圏に近い立地条件の良さなどは、石川町と比較できない」「石川町で生産される農産物を生かしたり、地元菓子店との共同による特産品開発が期待できる」「石川町道の駅は、温泉客などの観光客の誘導がカギになるのではないかな」などの意見が出されました。

報告します 議会の活動

議会モニター会議を開催しました

議会モニター制度は、議会広報、運営等についてモニターの方々からご意見等をいただき、議会活動に反映させてこうという趣旨で、令和4年度から導入しています。

2月19日に、「議会だよりの変更点について」「議会傍聴(視聴)について」を議題にして、第3回目となる会議を開催しました。

議会だよりは、これまでにモニターの方々のご意見をもとに見直しを行っており、「以前のものより見やすくなった」という感想をいただきました。

また、令和6年3月議会を傍聴(視聴)した感想等についてもアンケート調査することとしており、その結果を今後の議会運営に生かしていきたいと思えます。



新人議員勉強会

令和5年9月に行われた町議会議員選挙で当選した、6人の新人議員が勉強会に参加しました。

財政の仕組み、町財政の現状、法令の読み方、議員コンプライアンス、道の駅整備事業、地域公共交通の現状と課題などについて、6回にわたり町職員等を講師に行いました。

全国町村議会議長会から、町議会議員として15年以上在職の瀬谷京子議員が表彰されました。長年の功績が認められ、3月定例会の初日に近内議長が伝達表彰し、同僚議員から祝福の拍手が送られました。



自治功勞
表彰

未来に向かつて ・ 高校生の声

学校法人石川高等学校

3年 二瓶 菜美 にいへい なみ

感動の甲子園



チアリーディング部
部長の二瓶菜美さん

1月26日、本校野球部の選抜高校野球出場
の吉報が届きました。
春は33年ぶり4回目、
春夏通じ13回目の甲子
園出場です。チアリー
ディング部は、野球部
の応援を目的に昭和57
年に創部されました。
現在部長を務めている
私は、これまでの先輩
方の思いと共に甲子園
で応援できることに気
持ちが高まりました。

甲子園球場は、県大
会とは違った緊張感が
あり、大きな舞台であ
ることを実感しました。
何よりアルプススタン
ドにつめかけた学校関
係者や、卒業生の皆さ
んの気迫に圧倒されま
した。試合中は応援の
熱も増し、踊りや掛け
声を通して選手たちに
エールを送り続けまし
た。その中でも、校歌
と野球部伝統の応援歌
「甲子園の道」を卒業
生の皆さんと一緒に
歌ったときには、胸が
いっぱいになりました。
甲子園出場が決定し
てから、石川町内のい

たる所でお祝いのメッ
セージを目にし、町民
の皆さんの熱い思いと
優しさを実感しました。
試合終了後のスタンド
からも夏に戻ってくる
ことを願う声が多く寄
せられました。大きな
感動を味わった甲子園。
この経験を後輩にもつ
ないでいければと思い
ます。



甲子園のアルプススタンドで一斉懸命声援する大応援団

編集後記

石川町議会も昨年9
月の改選で、女性4名
また新人議員も6名と
フレッシュになりました。
た。これからも、町民
の皆様へ各議員の一般
質問を聞き、又は見て
いただいで、いろいろ
なアドバイスをお待ち
しております。
石川町発展に向けて
頑張ります。
角田保寿

議会を
傍聴しませんか
6月定例会
「一般質問」は
6月10日(月)の
予定です。

議会インターネット中継

町議会では、本会議の映像を配信していま
す。町ホームページを経由してYouTube
で視聴することができますので、是非ご覧
ください。ホームページへはこちらの二次
元コードからアクセスできます。



広報
常任委員会
委員長 根本 重泰
副委員長 増子美知夫
委員 迎 茂城
委員 水野谷常子
委員 星 恵子
委員 角田 保寿

